

令和 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2025 年 9 月 30 日

学 長 殿

所属部局・職名

(所属・学年) 人間発達文化学類・准教授

申請者名

(学会発表助成の場合は参加者名)

高木修一

助成の区分 (該当するものに○)	学会発表助成
研究活動名	The 11th International Conference of the Asian Association for Language Assessment
成果の概要	言語テストに関する国際研究大会である The 11th International Conference of the Asian Association for Language Assessment に参加し、「L1 and L2 Summarization Processes of an L2 Text Among Japanese EFL Learners: An Eye-Tracking Study」のタイトルで研究成果の発表を行った。英文要約課題における解答言語の影響について視線計測データを用いて検証を行ったものである。解答言語の影響は作成した要約を確認するプロセスに影響を与えており、解答言語が母語の場合は英文を読み直す割合が高い一方で、解答言語が第二言語の場合には作成した要約を読み直す割合が高いことがわかった。発表に対して参加者から多数のフィードバックを受けることができた。